

2026年1月29日

西日本旅客鉄道株式会社

株式会社JR西日本テクシア

Mobility Auth Bridge（会員基盤）・iCONPASS×マイナンバーカード による本人確認機能を活用したバス ICOCA 定期券利用促進施策

西日本旅客鉄道株式会社（以下「JR 西日本」）と株式会社JR西日本テクシアは、バス・地域鉄道事業者向けに提供している ICOCA WEB 定期券サービス「iCONPASS」において、マイナンバーカードを活用した本人確認サービスを開始いたします。

このサービスを活用する初の事例として、滋賀県蒲生郡竜王町（以下「竜王町」）が実施している、町民の学生の方を対象とした近江鉄道株式会社が運行する路線バスの通学定期券の購入補助制度において、2026年2月から活用される予定です。

1. マイナンバーカードを活用した本人確認サービスの概要

【参考】ICOCA WEB 定期券サービス「iCONPASS」

「iCONPASS」は Web サイト上でお手持ちの ICOCA の ID 情報を登録することでバス・地域鉄道会社の定期券等をご購入いただけるサービスです。

発売窓口に出向かなくともご自宅などで定期券等が購入でき、そのままバス・地域鉄道にご乗車いただけます。

「iCONPASS」は、JR 西日本が提供する、サービスごとに新たな会員登録を不要とするオープン型の共通アカウントサービス「Mobility Auth Bridge」を利用しています。

※JR おでかけネット：ICOCA WEB 定期券（iCONPASS）ページ

<https://www.jr-odekake.net/icoca/guide/bus/webteikiken/>



「iCONPASS」は、Web サイト上の操作だけでバス・地域鉄道の定期券を購入できるサービスですが、高齢者向けや市民向けといった特定のお客様向けの定期券の購入においては、対象者であることを証明する書類を Web サイトでアップロード、あるいは購入後に自治体等の窓口において補助の申請といった手続きが必要となっています。

このたび開始するマイナンバーを活用した本人確認サービスでは、Web サイトでの定期券の購入操作においてマイナンバーカードをスマートフォンにかざすことにより、お住まいの自治体や年齢などの情報が自動的に認証されるようになるため、アップロードや申請の手続きが不要となり^(注1)、よりスムーズに特定のお客様向けの定期券の購入を行えるようになります。

(注1) 竜王町の通学定期券購入補助制度においては、定期券購入後の自治体窓口への補助申請手続きは不要となりますが、定期券購入時における通学証明書等の画像のアップロードは、これまで通り必要となります。

2. 本サービスの導入によるメリット

交通事業者が本サービスを導入することで、特定のお客様向けの定期券や乗車証の購入のほか、特定のお客様に対する運賃割引も可能となるため、各自治体による様々な移動支援の施策に応じて柔軟に対応することができます。^(注2) ^(注3)

また、ご利用のお客様の利便性向上に加え、交通事業者や自治体にとっても以下のようなメリットがあります。

<交通事業者のメリット>

- ・乗務員等による乗車時の資格確認（目視による確認）や、Web サイトでアップロードされた書類の承認作業が不要となります。
- ・自治体との清算に必要な割引額の計算などの業務が軽減できます。

<自治体のメリット>

- ・補助申請の受付や補助金交付にかかる業務が軽減できます。
- ・マイナンバーカードのさらなる活用促進に寄与します。

(注2) マイナンバーカードの「基本4情報」を用いた、居住対象とした自治体や年齢などを条件とした定期券購入や運賃割引が可能となります。（マイナンバーカードに署名用電子証明書を付与されている方が対象です。）なお、障がい者の方の資格確認（自己情報取得 API）機能を用いた定期券購入等の機能は、2026 年度に提供開始予定です。

(注3) マイナンバーカードを活用した本人確認サービスは、「iCONPASS」を導入した交通事業者のオプションサービスとなります。

* 「ICOCA」「モバイル ICOCA」は西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

* 「iCONPASS」は株式会社 J R 西日本テクノの登録商標です。

* 「Apple」「Apple Pay」は Apple Inc.の登録商標です。

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 3 番、9 番、11 番、17 番に貢献するものと考えています。

